

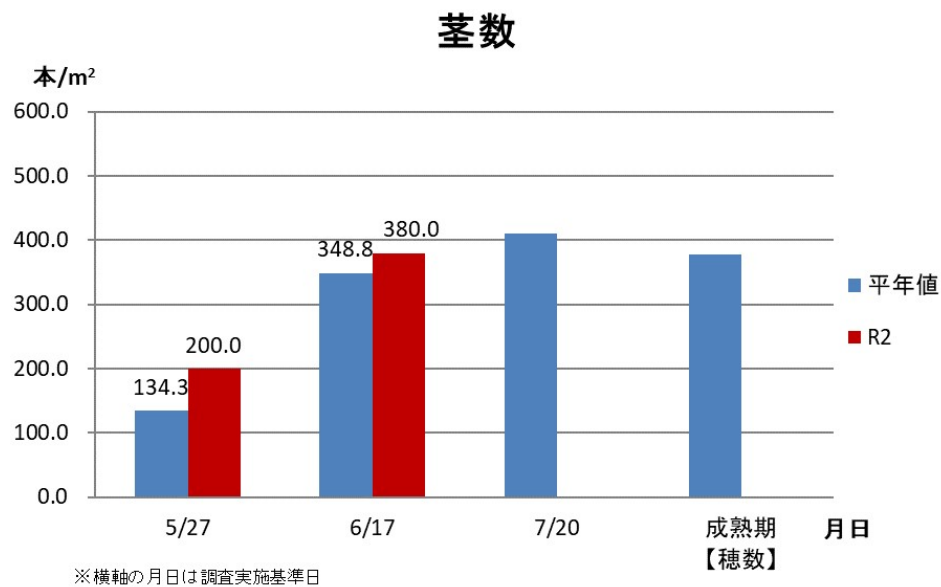
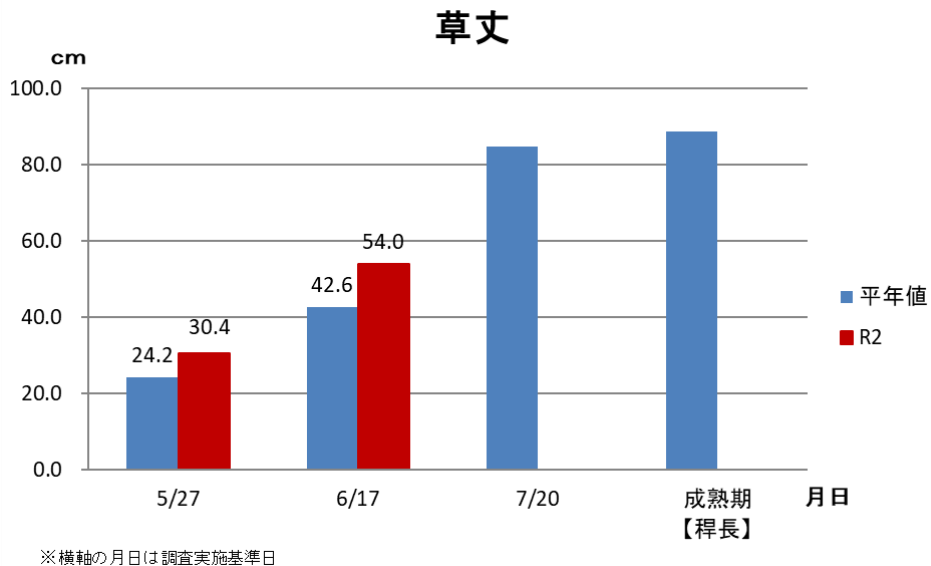
令和2年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

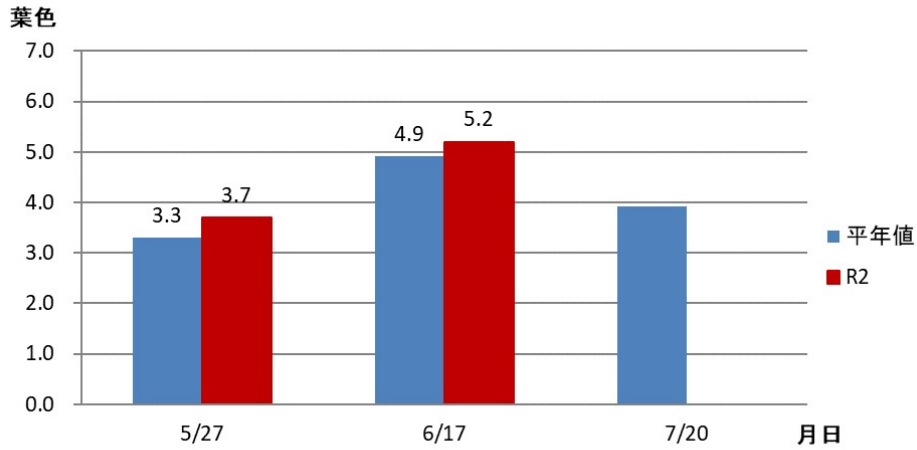
1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第2回）

1) 水戸市の調査結果

| 調査場所 | 品種 | 移植日 | 調査日 |
|------|-------|-------|-------|
| 水戸市 | コシヒカリ | 5月24日 | 6月29日 |

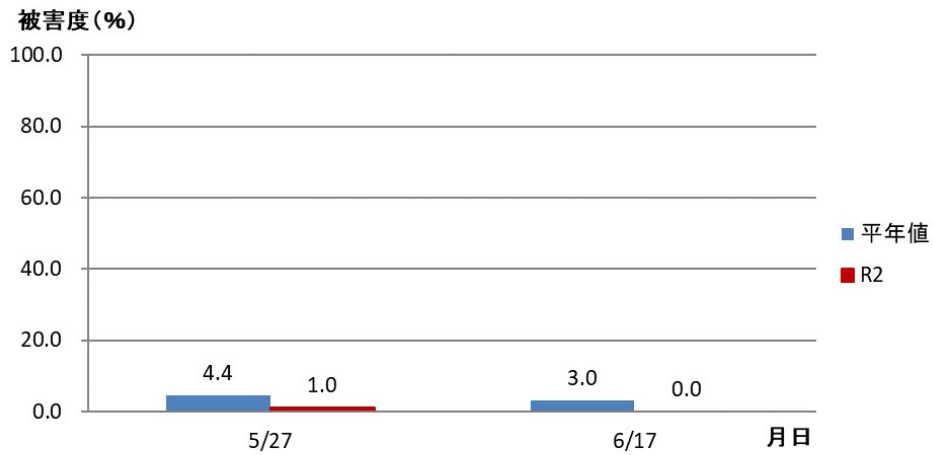


葉色(カラースケール)



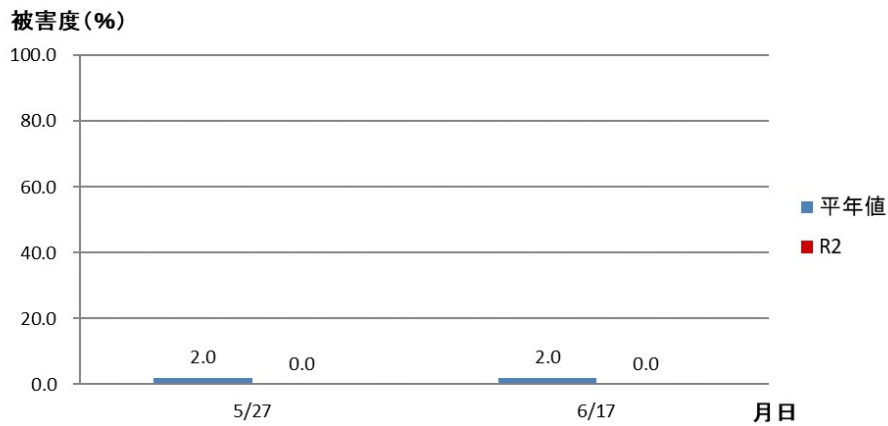
※横軸の月日は調査実施基準日

イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 27～令和元年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈は高く、茎数、葉色は平年並みとなっています。

【今後の管理上の注意点】

調査ほ場の茎数は平年並となっており、「コシヒカリ」の中干しの目安である茎数 330 本/m²が確保されていますので、速やかに中干しを開始してください。

梅雨に入りましたので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病虫害発生調査結果について

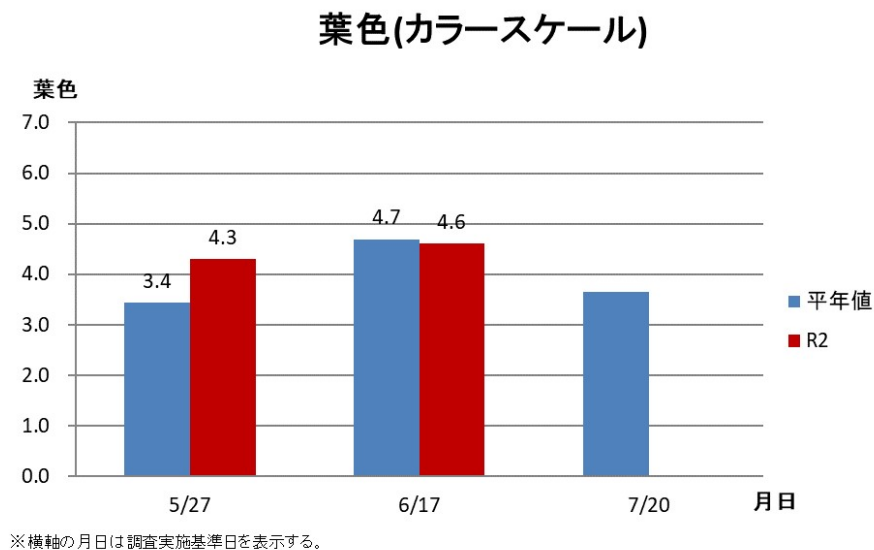
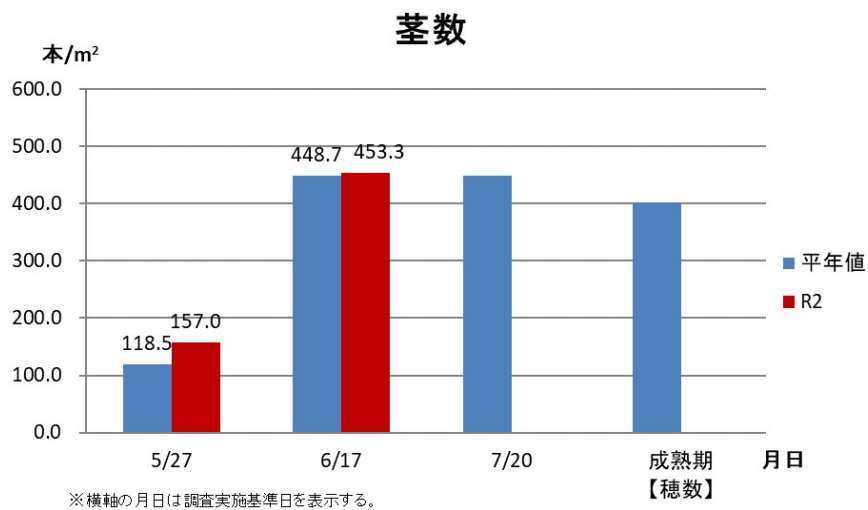
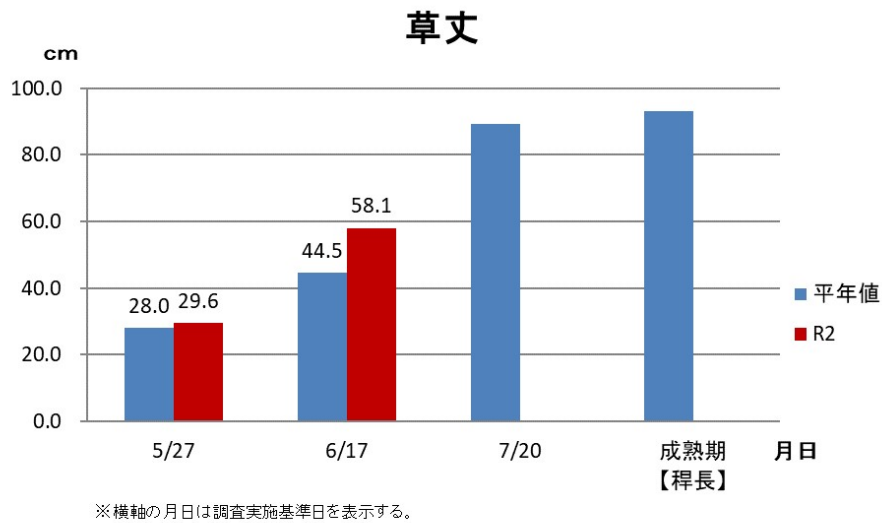
イネミズゾウムシ、ドロオイムシとも発生が見られていません。

梅雨時期ですので、いもち病の発生に注意して下さい。

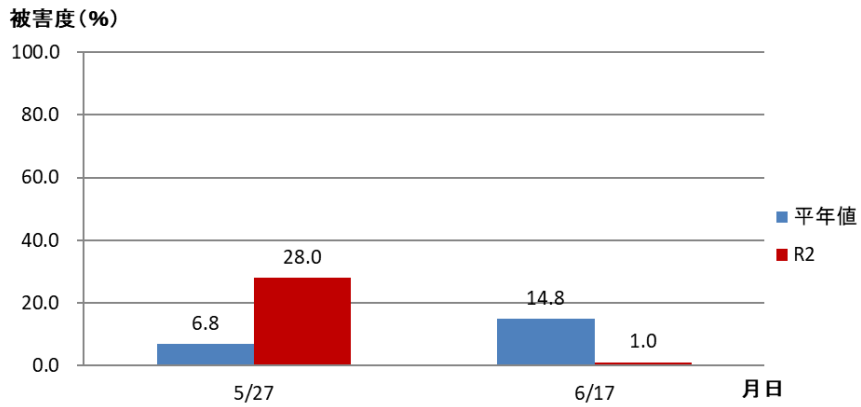
今後、斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効です。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する 2 週間前までに除草を完了させて下さい。

2) 茨城町の調査結果

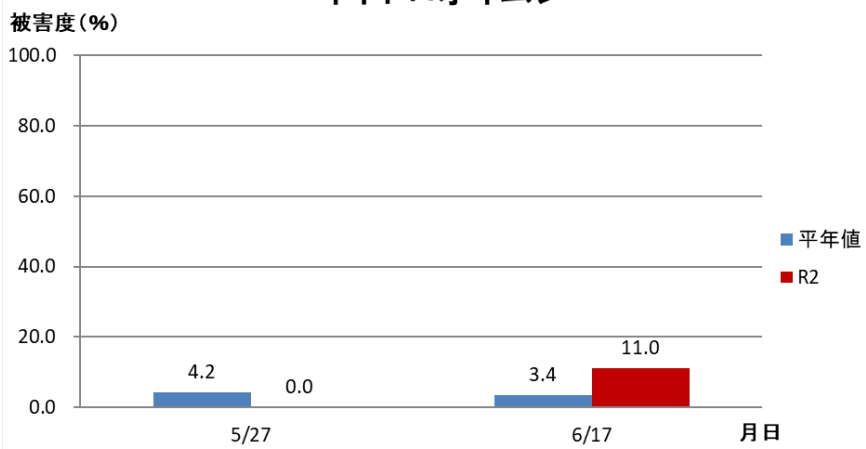
| 調査場所 | 品種 | 移植日 | 調査日 |
|------|-------|------|-------|
| 茨城町 | コシヒカリ | 5月9日 | 6月18日 |



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成 27～令和元年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈は平年より高く茎数、葉色は平年並みとなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数は平年並となっており、「コシヒカリ」の中干しの目安である茎数 330 本/m²が確保されていますので、速やかに中干しを開始してください。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネドロオイムシの発生が少程度見られていますが、問題はないと思われます。

例年いもち病の発生が見られているようなので、梅雨時期ですので発生に注意して下さい。

今後、斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効です。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する2週間前までに除草を完了させて下さい。

2. 次回調査予定日

7月20日

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター